

商品開発事例 ————— 02

「RED&WHITE」シリーズ (株)織田幸銅器×鈴木啓太

メイド・イン・トヤマのデザイン展 ————— 03

概要

デザインシンポジウム

「デザインカンパニータカタレムノスとデザイナー達」

講師 高田博／澄川伸一／寺田尚樹

基調講演

「デザインとエンジニアリングのマッチングスキーム」

講師 山中俊治

デザインセミナー ————— 09

「特色ある地域のものづくりとデザイン」

講師 柴田文江／澄川伸一／橋田規子

「これからの建築と建材」

講師 千葉学／赤松佳珠子

富山県商品開発研究会 ————— 13

概要

経営者のためのデザイン活用セミナー

「Good Design から Success Designへ」

講師 桐山登士樹

デザイントレンド速報

「メゾン・エ・オブジェ2014、アンビエンテ2014」

講師 桐山登士樹

ものづくり企業デザイン活用セミナー ——— 16

「テクノロジーとデザインの融合で社会を創造する」

講師 石橋勝利

「3Dプリンターブームは何なのか？」

3Dプリンターは本当に新産業革命のツールなのか？」

講師 原雄司

「クラウドファンディング

～中小企業の夢を実現する最新資金調達術～」

講師 松崎良太

富山プロダクツ選定事業 ————— 19

概要

2014年度富山プロダクツ選定商品

富山プロダクツ選定商品販路拡大調査を実施

ナイトフォーラム ————— 23

「デザイナー・小林幹也の考えている事、実行した事」

講師 小林幹也

富山県総合デザインセンター主催の
各種イベント ————— 24

2013年度事業報告 ————— 25

Product Development

商品開発事例

老舗銅器問屋が提案する
純銅のギフトシリーズ

富山県総合デザインセンターでは、

企業の商品開発について積極的に支援を行っています。

デザイナーとのマッチングやセンターとの共同研究・共同開発、

コンペ作品の製品化など、企業の状況に合わせた提案や

アドバイスを心がけています。

「RED&WHITE」シリーズ
(株)織田幸銅器×鈴木啓太

(株)織田幸銅器(富山県高岡市)が、銅ブランド「RED&WHITE」を立ち上げ、その第一弾として純銅カップを販売したのが、2013年4月のこと。商品は槌目仕上げとマット仕上げの2種類。表側になる純銅の赤色と内側の錫メッキの白銀色が、上品なコントラストになっていて、この配色がブランド名「RED&WHITE」＝「紅白」にもつながっています。

デザインは鈴木啓太氏。元々モスコミュールが銅製のマグカップで飲まれていたことから発想したデザインで、洗練されたフォルムが魅力。さらに、純銅の優れた熱伝導率と保冷性を活かして、飲み物の冷たさが持続する機能性も兼ねそろえています。製造面において、県内外のメーカーに協力を求め、新潟県燕市のメーカーと提携。産地を超えた技術提携によって、「RED&WHITE」は誕生しました。その後も「銅のある生活」という視点から、様々な生活アイテムを開発しています。

同社では本ブランドシリーズの開発には、ギフトとしての完成度を追求することにこだわったといいます。そのため、パッケージについても第1弾は箔押しした筒箱、第2弾は赤い化粧箱にするなど、工夫を凝らしています。今後は個人だけでなく、ホテルやレストランなどの祝いの席で使ってもらえるコントラクトとしての展開も、意欲を見せています。

■株式会社 織田幸銅器
高岡市金屋本町3-34
TEL.0766-24-6154
<http://odakou-douki.co.jp/>



Designer Profile



鈴木啓太氏

PRODUCT DESIGN CENTER

1982年愛知県生まれ。2006年多摩美術大学プロダクトデザイン専攻を卒業後、(株)NECデザイン、イワサキデザインスタジオを経て、2012年4月に「PRODUCT DESIGN CENTER」「THE」を設立。「製造産業と社会との触媒になる」をビジョンに掲げ、一次産業から二次産業まで、国内外の様々な商品開発のプロジェクトに関わっている。近年の代表作には「富士山グラス」がある。